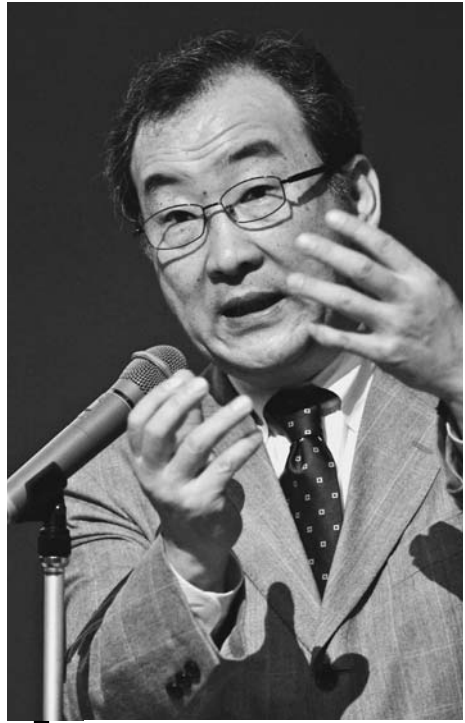


健康、仲間づくりの地域拠点を

総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラムin阿見

基調講演 スポーツの多様性 — 今に残るニッポン流



日本では昔、スポーツなんてするやつはろくなやつではないという感じでした。比較的まとまどとみられたのが、武士の格闘技です。柔道、剣道、空手、相撲、なぎなた。その中、柔道、相撲、なぎなたは教えない練習がセットに。今も格闘技の伝統を残すも

NHK解説委員室 山本 浩氏
解説主幹

家制度に似た内部構造

勉。三つ目が「速」です。この三つ目のキーワードがあったら、重視されるもの。そこには精神性があるんです。自己犠牲の態度をものすごく大事にする。この背中には教えない練習がセットに。二つ目は「勤」の中で共通認識は「礼」です。背景に「礼」があります。時間を正確に守る。結果を、能力、実力と関連させて考える。ニッポン流の組織を改めて振

やまもとひろし(一九五三年、島根県松江生まれ。東京外国語大学トイ言語学卒業。七六年NHK入局。九三年、東京アナウンス室勤務。二〇〇五年から解説委員室所属。サッカー中継を二十年にわたって担当。W杯では、メキシコ大会から大会で実況放送している。トイッ大会で日本戦のプレゼンターを務めた。

指導者が父親で弟子は子どもで、年齢による上下関係があり。語ったときに、バインと開放する力です。また次に集中できる環境になるわけです。コミュニケーション能力の得意な指導者と不得意な指導者があります。苦手な人も、教えるべき分野をそれぞれに。コミュニケーションの能力は、すぐに育たないのです。子どもは、コミュニケーションは実は正解がありません。総合型地域スポーツクラブづくりは、新しい社会の形成なのです。時代の要請は共同体の再編だと思っております。答えはないのです。選択肢を探して、みんなで考えていくべきかと思っています。

総合型地域スポーツクラブの育成推進を図るフォーラムが二月二十三日、阿見町本郷ふれあいセンターで開かれた。NHK解説委員室の山本浩氏が基調講演した。プロテニスプレーヤーの佐藤直子さん、新町スポーツクラブチーフクラブマネージャーの小出利一さん、福島大学教授の黒須充さんと、地域スポーツの楽しさと題しパネルディスカッションを展開。約百六十人が参加し、総合型クラブの普及、促進をめぐる課題について理解を深めた。



プロテニスプレーヤー
佐藤直子氏

スポーツに本音出せる良さ

少年団だけなら出会わない光景

山本 総合型地域スポーツクラブについて全体のガイダンスからお話しいただけますか。
黒須 スポーツは無限の可能性を持っています。しかし、現

状では、子ども、大人、高齢者が分散されて、スポーツの持つ無限の可能性を引き出すことができない。種別や学校が違っても、地域という共通のステージでクラブを組むのは大きな力になるのではないか。ある特定の種目だけではなく、いろいろな種目でレレレや興味に応じてプロگرامが選べるように構成され、住民の方が主体的に運営にかかわって、すべての世代の人々が近隣の公共施設を使いながら生涯にわたってスポーツを楽しむことが出来る。これが総合型クラブです。

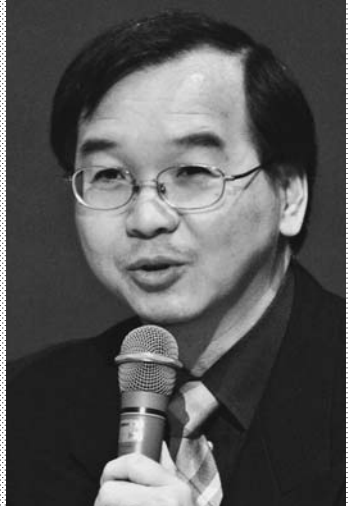
パネルディスカッション「地域スポーツの楽しさ」

《パネリスト》

佐藤直子(プロテニスプレーヤー)
小出利一(新町スポーツクラブチーフクラブマネージャー)
黒須充(福島大学教授)
《コーディネーター》
山本浩(NHK解説委員室解説主幹)

世代や職業超えた新共同体を構築へ

こいでとしかず(一九五八年、群馬県生まれ。同県立藤岡高校卒業。七七年、同県スポーツ少年団副団長に就任。九八年、新町総合型地域スポーツクラブコーディネーターに就任。二〇〇七年、日本体育協会公認クラブマネージャー(二期生)の資格を取得した。



新町スポーツクラブチーフクラブマネージャー
小出利一氏

地元を好きな大人になって

くろすみつる(一九五八年、福島県生まれ。筑波大学体育専門学群卒業。同大学大学院修士課程体育科学研究科修了。ケルン体育大学留学中に、ノイスターの振興策について研究。ドイツのスポーツクラブの概況と行政の支援策を紹介。文部科学省中央教育審議会スポーツ、青少年分科会専門委員。



福島大学教授
黒須充氏

夢を共有できるかがカギに

体力テストを受け、群馬県の冬のからし風の逆風の中、五分完走で一三〇〇メートルを走り、私たちが肝を抜かれました。この日は、一躍、小学生から、スパーバスの中で活動しているこのクラブが、あだ名がつけられました。もしもスポーツ少年団だけで活動していたら、こういう場面に出くわさないです。

本音の中にもルールがある

佐藤 スポーツの一番の良さは「本音」で出せることです。相手をやっつけて、「ヨシ」とか言えるのは、今の世の中、あ

まりない。その中にルールがあります。それを守らなければスポーツではない。最近、小さな子どもを教えたりするので、それを一番強調しています。

補助金なくとも立ち行か

山本 黒須先生、現実例えは頓挫している、あるいは、始まったものはストップしてしまつた、解散してしまつたという例も無いわけでは無いですが、問題点に経済的な部分があるのだからと思います。現状はどうなのか。総合型スポーツクラブを立ち上げて運営をしたときに、補助金が出てくるのは現実問題として、その後、立ち行かなくなつてしまつた、背景に共通するものはありますか。

「行政と住民が新しい仕組み

山本 佐藤さんは欧州などをよく回つていらつしやると思いますが、日本とは全然状況が違います。かえって高いほうは信頼できるというように、日本人にはなかなかない発想をします。

佐藤 無料でしてしまつたりも、払っていたら良かったが参加者の意識も高まる部分もあります。かえって高いほうは信頼できるというように、日本人にはなかなかない発想をします。

山本 多くのことは、行政が引つ張つてくれる、ある程度立ち上げるまでサポートしてくれるのです。ただ、サポートの抜け方が多分問題だとも思います。行政側が多分問題だとも思います。行政側が多分問題だとも思います。行政側が多分問題だとも思います。

黒須 合併前は体育協会の事務局を行政の中に置いたり、市民体育祭を展開したりという形で、きめ細やかに旧市町村単位で事業を実施することができたのです。しかし、合併によって手が回らなかつた。これまでも行政が主催したスポーツ教室や催しをクラブに委託したり、行政と住民のパートナーシップを組んだ新しい仕組みというものが始まっています。

主催：財団法人日本体育協会 共催：茨城新聞社、全国地方新聞社連合会 後援：茨城県教育委員会、財団法人茨城県体育協会

文部科学省委託事業
総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

茨城でも続々誕生！ 総合型地域スポーツクラブ

スポーツは人々の心や身体の健全な発達を促し、生命力や活力を与えてくれるとともに、健康で豊かなライフスタイルを構築し、夢や生きがいのある社会の形成に重要な役割を担っています。

そして今、茨城県の各市町村でも広く社会がその価値を認知し、いつでも、どこでも、いつまでも、より多くの方がスポーツを楽しめる地域コミュニティとしての「総合型地域スポーツクラブ」の設立が求められています。地域の特徴をいかし、地域の皆さんのニーズにあったクラブを地域住民の手でつくります。あなたもぜひ参加してみませんか。



市町村名	クラブ名
日立市	① 清川ファミリースポーツクラブ
日立市	② 鳩山コミュニティクラブ
城里町	③ ななかひソフトスポーツクラブ
城里町	④ (仮称)桂地区スポーツ環境を考える会
那珂市	⑤ スポーツクラブひまわり
東海村	⑥ 総合型地域スポーツクラブSCスマイルTOKAI
水戸市	⑦ さかどいいきいスポーツクラブ
大洗町	⑧ 夢town大洗スポーツクラブ
鉾田市	⑨ 大洋地区総合型地域スポーツクラブ
鹿嶋市	⑩ NPO法人かしまスポーツクラブ
潮来市	⑪ いきいきITAKOスポーツクラブ
筑西市	⑫ ASKスポーツクラブ館西
坂東市	⑬ 遊ゆうクラブ
坂東市	⑭ スポーツクラブさしま
つくば市	⑮ NPO法人つくばユニテッドVOLLEY BALL
土浦市	⑯ 土浦スポーツ健康倶楽部
かすみがうら市	⑰ KSCなかとろスポーツクラブ
取手市	⑱ KSCエンジョイスポーツクラブ
取手市	⑲ とりで西部ふれあいクラブ
取手市	⑳ 取手セントラルクラブ
取手市	㉑ 取手東部わいわいスポーツクラブ
利根町	㉒ とねワイワイくらぶ
利根町	㉓ ライフスポーツクラブしんとね
利根町	申請準備中
常陸大宮市	申請準備中
常陸太田市	申請準備中
ひたちなか市	申請準備中
桜川市	申請準備中
行方市	申請準備中
守谷市	申請準備中
牛久市	申請準備中
阿見町	申請準備中

SCステーション
クラブづくりの意義やサポート体制、
全国で展開されているクラブなどの情報が紹介されています。
<http://www.japan-sports.or.jp/local/>

●お問い合わせ先
(財)茨城県体育協会 クラブ育成アドバイザー TEL 029-226-9972
(財)日本体育協会 クラブ育成課 TEL 03-3481-2278

